

令和元年度第2回白河市子ども・子育て会議 会議録

日 時： 令和元年8月19日（月） 午後6時

場 所： 白河市役所 地下第1・2会議室

出席者： 飯村庄后委員、今井里志委員、十文字光伸委員、畠山史信委員、
鈴木順子委員、橋本未来委員、田中晋哉委員、樋口葉子委員（会長）
永野美代子委員、國井保子委員、浅賀秀寿委員（11名）

●令和元年度第2回白河市子ども・子育て会議

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議

(1) 児童人口推計について

事務局より、令和2年度から令和6年度までの児童人口の推計について説明。

委員：児童人口の減少が続き、令和5年には0歳児が400人を下回る見込みと
なっている解釈でよいか。

事務局：ご理解のとおりである。

(2) 子ども・子育て支援事業の量の見込みについて

①子育て家庭の種類の把握について

事務局より、子育て家庭の種類の把握について説明。

委員：保育時間の認定について基準はあるのか。

事務局：就労時間が月64時間以上であれば、保育園での預かりは可能となっ
ている。

委員：3ページの「家族の就労状況と保育の必要性の関係」では、就労時間が6
4時間以上120時間未満の枠で一部、保育の対象となっていないが正しいのか。

事務局：就労している全ての方が子どもを預ける訳ではないことも勘案しての基
準である。

②量の見込みについて

事務局より、量の見込みについて説明。

委員：幼稚園・保育園の量の見込みについて、表郷・大信・東地域の0歳～2歳児はどこに通うのか。

事務局：主に表郷・大信・東地区の保育園に入園している。

委員：保育園について、計画の中で定員数を記載する予定はあるか。

事務局：定員数の記載は考えていない。

委員：病児保育事業について課題はあるか。

事務局：4月に始まったばかりなので周知を継続し、登録者を増やして行きたい。
白河市と西白河郡で、7月1日現在、登録者は77名である。

委員：周知方法は。

事務局：広報等の全戸配布や、看護師・保育士が児童クラブや幼稚園・保育園を訪問して周知している。今後も継続していきたい。

(3) 計画骨子案について

事務局より、計画骨子案について説明。

委員：第4章の基本施策はどうなるのか。

事務局：今後の会議で協議していく。

会長：第5章の国が定める基本方針はいつ出るのか。

事務局：基本方針の案は示されているが、正式なものはまだ示されていない。

4 その他

事務局より幼児教育・保育の無償化について説明。

委員：無償化の範囲は多子世帯軽減などと同じく、第2子、第3子で変わってくるのか。

事務局：無償化の範囲は第2子、第3子関係なく、3歳～5歳の子どもが対象となる。

委員：無償化について、給食費はどうなっているのか。

事務局：給食費など食材の無償化については、年収360万円未満の方と第3子を対象にしている。食材費は園独自に設定できるが、公立の園では、国の基準(4,500円)に沿って実施する。

5 閉会